

離職中でも“歯を守るための情報”
を伝え続けている読者DHを紹介

Vol.4

いつでも
どこでも

DHとして生きる！

子育てをしながら、
産婦人科や助産院で歯磨き教室を開いている阪井さん。
産後のお母さん5～8組を対象に計5回のコースを組み、
半年間かけてじっくり向き合っています。
活動を開始して4年。これまで300人以上の方へ
歯の大切さをお伝えしてきたそうです。



阪井 国子さん(大阪府)

お母さんたちを 歯磨きのプロフェッショナルへ！

「お母さん、ここが磨けていません。お子さんがむし歯になってしまいますよ！」
歯科医院で働いていた頃は、そうやって目を光らせていました。でも実際に母親になってみると、嫌がる子どもの仕上げ磨きは大変だし、忙しくて自分の歯すら満足にケアできない……。身を持って体験することで、「お母さんたちにはサポートが必要」と気づくことができたんです。そんなとき、桶谷式の母乳育児相談室の先生が「歯科衛生士さんがここで歯磨き指導をしてくれたことがあったのよ」と声をかけてくれて、立候補することに迷いはありませんでした。始めは、1歳の子を持つお母さんを対象にしていました。お母さん自身のセルフケアの方法と、お子さんへの仕上げ磨きの指導です。ところがなかなか上手くいかなかったのが仕上げ磨き。1歳ともなればちようどイヤイヤ期まっ盛りで、泣き叫ぶ子供を前にお母さんの気持ちが折れてしまふことも度々あったんです。そこでだん

だん年齢を下げ、今は生後4ヶ月から始めています。この頃から歯ブラシを口に入れることに慣れておくと、そのスタイルが当たり前になるんです。おかげで、子どもの歯磨きは驚くほどスムーズになりました。お母さんたちも回を追うことに成長の喜びを感じつつ、楽しそうに取り組んでいます。

歯の大切さや予防について話をしていると、いつもこちらが圧倒されるくらい質問が飛び交うんです。なかには旦那さんやおばあちゃんを連れてきたり、教室が終わってから「歯並びが変わったけど、どう磨けばいいの?」と連絡をくれたりする方も。「わが子のためなら何だって頑張る!」という気持ちの表れだなあと、うれしくなります。お母さんたちのやる気があれば、親子でむし歯ゼロ、歯周病ゼロも夢ではありません。そんな未来を目指して、これからもプロフェッショナルな歯磨きができるお母さんをごんごん増やしていきたいです！

「歯科衛生士として、こんな予防活動をしています」という育児休暇中や離職中の読者DHを募集!

カンタン
ご連絡
方法

☎
お電話の
場合

☎0120-500-418

オペレーターに「いつでもどこでもDHの件です」とお伝えください。氏名・電話番号・折り返し希望日時をお聞かせいたします。

✉
メールの
場合

club@oralcare.co.jp

件名に、「いつでもどこでもDH」と記入し、本文に氏名(フリガナ)・電話番号・折り返し希望日時を明記のうえご送信ください。

※折り返し希望日時は、平日9時～17時の間でご指定ください。